



# 成田中だより

令和5年9月1日  
成田市立成田中学校  
TEL 0476-22-0304  
生徒数 503名  
文責 濱谷 昌人

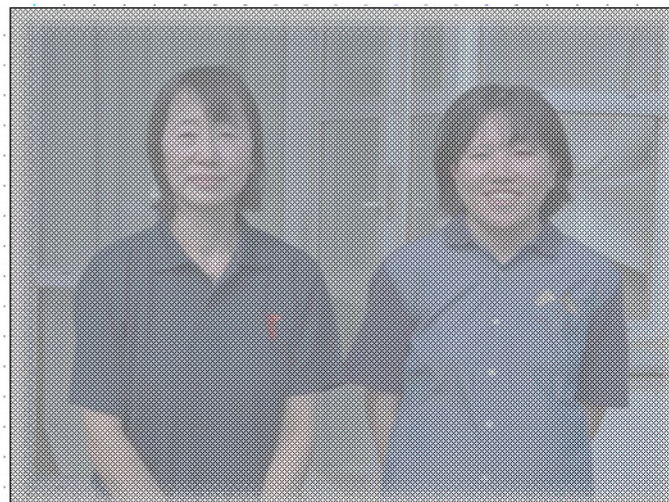
## 《令和5年度学校教育目標》『 夢 へ 』

「誰もが夢を持ち、明日も行きたいと思える学校」を生徒とともに目指します！

### 2学期です・・・心配ごとがあれば、安心して相談してください

さあ、2学期が始まりました。夏休み中に大きな事件事故に巻き込まれた生徒もなく、無事2学期を迎えられたことに正直ホッとしています。久しぶりの学校に「やっぱり成中は楽しいな！」と笑顔いっぱいの人が多いことでしょう。

それでも、夏休み明けの学校に不安を抱えながら登校してきた人もいたかもしれません。よく、頑張って登校しましたね。もしも、心配ごとや悩みごとを抱えたままこの2学期を迎えてしまっている人がいたなら、どうか先生達に相談してみてください。もちろん、保健室のM先生やF先生に気軽に相談してみるのも良いでしょう。どんな小さなことでも、親身になって相談に乗ります。心配ごとや悩みごとは、一人で抱え込まないことが大切です。



また、1学期にもお知らせしたとおり、本校には相談員 ◎保健室に行けば何でも安心して相談できます。の職員がいます。いつでも、安心して声をかけてみてください。そして、担任の先生はもちろん、私を含めどの先生も皆さんの相談に応じます。どうか遠慮せず頼ってきてください。

最後に、2学期の開始に当たり、永岡桂子文部科学大臣より皆さんへ宛てたメッセージが届いておりますので、本日、皆さんのタブレットへ配信します。必ず目を通しておいってください。また、保護者の皆様宛てのメッセージもありますので、マチコミにて配信させていただきます。ぜひご覧ください。

### 【相談員の先生（セクハラ相談員を兼ねます）】

本校の相談員です。いつでも、気軽に相談に来てください。

M. J. (養護教諭)      A. M. (スクールカウンセラー)  
M. N. (教務主任)      H. H. (教育相談担当)

【PTA環境整備作業フォト】：成中生も保護者の皆さんも、とても働き者です！とても綺麗になりました！



## 実りの秋に！ ～実るほど頭(こうべ)と垂(た)れる稲穂かな～



### ◎私の通勤路の山口地区の水田地帯が見事な黄金色に！ ◎夏休み中は、どの部も本当に頑張りました！

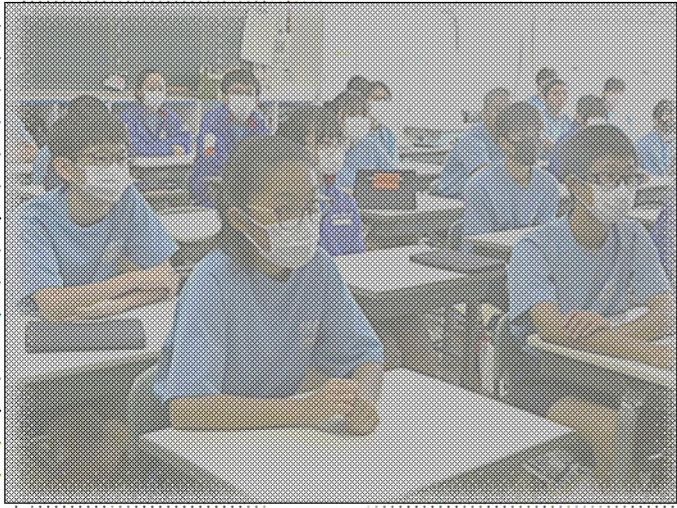
私はこの夏、毎朝地元の水田地帯をゆっくりと趣味のジョギングをして楽しんでいました。早朝とはいえ、朝から暑くて大変な日もありましたが、どこまでも続く田園風景にはいつも心が癒やされていました。時折出くわすキジや白鷺には、不思議と心が和みました。用水路となっている小川を悠々と泳ぐ鯉は、私の足音を聞いて飛び跳ねるときもあり元気をもらっていました。里山沿いの木陰コースは、クーラーが効いているかのように涼しく感じて爽快でした。その日の気分でコースを変えてはいましたが、どのコースを走っていても田園風景は目に入ってきます。そして、残暑厳しい日が続いてはいますが、稲穂の波がどんどん黄金色に色づいていることに気づきました。気のせいかな、空も少し高くなってきたような気がします。猛烈な暑さに耐えてきただけあって、実った稲穂がずっしりと重そうで、お辞儀をするように下に向かって垂れています。

皆さんは、「**実るほど頭を垂れる稲穂かな**」という言葉聞いたことがありますでしょうか。私が日本一の陸上競技指導者と尊敬するE. W. 生の大切にしていた言葉です。E先生はハンマー投げの選手としてアジア大会を制した実績を持つ方ですが、指導者としても大変素晴らしい方です。どんな選手も人として競技者として大切に育てあげ、数多くの実績を残されてきた先生です。この言葉の意味は、稲が実を熟すほど穂が垂れ下がるように、人間も学問や徳が深まるにつれ謙虚になってくるものだということださうです。簡単に言えば、立派な人、成長し続ける人ほど、謙虚な姿勢を忘れないということだと思えます。進化し続けていく人間の共通点のような気がします。この夏、部活動をはじめ何か真剣に打ち込んできた人は、今、謙虚な姿勢(心)を持って2学期を迎えることができているのでしょうか？ぜひ、自分自身を振り返ってみてください。

今年の夏も、高校野球をはじめ、テレビの映像からはたくさんのスポーツの感動的なシーンが流れてきていました。その姿に勇気ももらっていた人もいたかもしれませんね。大リーグで活躍する大谷選手のホームランやピッチングに元気をもらっていた人も多かったのではないのでしょうか。我々からはとても輝いて見えるアスリートも、このステージに立つまでの道のりは本当に大変だったことと思います。スポーツに携わってきた人間として、心からそう思います。だからこそ、このステージに立つことのできたアスリートのパフォーマンスからは大きな感動が伝わってくるのだと思います。そして、インタビューに答える選手や監督の一言一言からは、「**謙虚な姿勢**」を感じる人が多いです。この謙虚な気持ちを持って、その競技が大好きで、自分に厳しく努力をしてきた真のアスリート達だからこそたどり着けた場所なのでしょう。この「**謙虚な姿勢**」と「**真摯な努力**」を見習いたいものだと思ってしまう。

早いところでは、既に稲刈りが始まっています。この地域の水田地帯にとっても、成田中学校にとっても、実り多き秋になることを願っています。そのためにも、謙虚な姿勢で努力することを大切にしていきましょう。残暑厳しい日が続きますが、ここに来て少しだけ朝夕は涼しくなり、秋の気配が感じられるようになってきました。42日間という長い夏休みが終わり、いよいよ今日から、生徒会役員選挙、合唱コンクール、そして、1・2年生の校外学習などの行事が目白押しの2学期がスタートです。3年生は、受験生として踏ん張りどこの学期にもなってくることでしょう。「**謙虚な姿勢**」と「**真摯な努力**」を大切にできる成中生として、充実の2学期にしていきましょう。「**実るほど頭を垂れる稲穂かな**」・・・そんな成中生でいてください。

## 1学期の反省と踏まえて ～1学期終業式での代表生徒意見発表より～



1学期終業式は、オンラインによる式を実施しました。皆さんも、オンラインでの式や集会にはすっかり慣れてきたと思いますが、今回は初めて図書室から映像を流したので、私も少し緊張しました。本音を言えば、体育館で皆さんの表情を見ながら話をしたかったのですが、大変な蒸し暑さの中でしたので、熱中症を予防するためにオンラインでの終業式とさせていただきました。それでも、1年生から3年生までのどのクラスも緊張感を持って、整然と式に臨めていました。整然とすべきところで当たり前で整然とできる！どんな状況でも、成中生として当たり前のことを当たり前やる！今の成田中学校が、安心して過ごせる場になっているのは、みんなでこういう場を大切にしているからだと思います。この2学

期も、まずは、当たり前のことを当たり前に行うことによって、成田中学校として、気持ちよくさわやかにスタートを切りましょう。

さて、1学期終業式の中では、各学年を代表して O.K.さん(1年)、I.M.さん(2年)、そして、N.S.さん(3年)の3人が『1学期を振り返って』をテーマに意見発表をしました。オンラインでの発表となりましたが、3人とも落ち着いて自分自身の想いをしっかりと伝えていましたね。素晴らしい発表でした。

### O.K.さん(1年)の「1学期の反省」

「明日は楽しみだな。」口には出したものの、入学前の私は、中学校生活への期待と不安が入りまじった不思議な気持ちでいっぱいでした。入学式の日、学校へ着くと友達から「同じクラスだよ。やったね！」と声をかけられ、その一言で、それまでの不安が少しやわらぎ、軽い足どりで教室に向かったのを覚えています。入学後は、自分から色々な人に話しかけてみました。意外にも話が合い、何人かの新しい友達ができました。新しいことに挑戦してみようという気持ちから、学級委員会に立候補しました。

でも、実際に仕事をやってみると周りに迷惑をかけてばかりで、本当に自分が学級委員でよかったのかと思うようになりました。

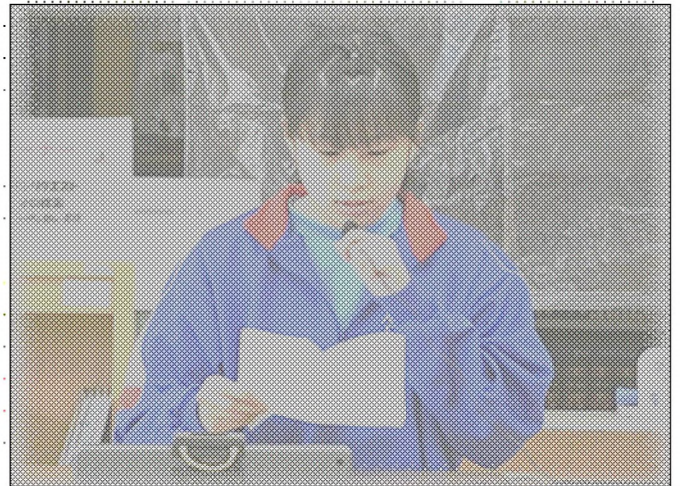
もともと、心配性な私は「間違えていないか？本当にこれでいいのか？」と悩むことが多いです。ですが、そんな気持ちの私を助けてくれたのは、クラスみんなや学年の仲間でした。最後まで話を聞いてくれたり、協力してくれたりする優しい人が多い学年で、本当に安心しています。だんだんと、「間違えても大丈夫」と思えるようになってきました。

体育祭では先輩方のすごさを感じ、定期テストでは小学校とは違う難しさを知りました。気づけば、明日から夏休み。あっという間の1学期でしたが、それだけ充実した楽しい時間を過ごせたのだと感じます。これからの中学校生活も楽しみです。2学期も、1年生として何事も全力で取り組みたいです。

### I.M.さん(2年)の「1学期の反省」

2年生として1学期を終え、2学期からは成田中を引っ張っていく立場となります。そんな大事な1学期を振り返ると、私達の成長を感じた点と改善点がありました。

まず、成長を感じた点は2つあります。1つ目は、体育祭などの行事への取り組みについてです。行事に対し積極的に行動できました。係では準備から当日の動きまで、競技がスムーズに進むように考えながら動くことができました。ムカデ競争ではクラスで協力して練習したり、応援合戦も全力で声を出しました。その結果、学年みんなの団結力が高まり最高の体育祭にすることができました。また行事に関心を持ち、普段





はできない他学年との交流をすることで先輩方からたくさんのお話を学び、1年生からはとても良い刺激をもらいました。

そして2つ目は自分のやるべきことを定着させ責任をもって成し遂げることができました。1年生の時とは違い、先輩という立場になったので去年よりもみんなが考えて行動できるようになったと思いました。

しかし、改善すべき点も見られます。それは授業中の態度です。2年生になってから時間が経つにつれ、気を引き締めることができず授業への態度が悪くなってしまっている人がいました。集中力が続かなかったり、おしゃべりに夢中になってしまうなどということもありました。来

年には受験生になるので、2学期からはより一層集中して授業に取り組んでいきたいです。

後期には3年生の役割を受け継ぐことになります。先輩に安心して仕事を任せてもらえるように。そして先輩たちが心置きなく受験勉強を頑張ることが出来るようになるために、委員会や行事に率先的に取り組むことや自分の仕事を定着させていくことを続けます。そして、自分のため、仲間のために授業を大切にしていきます。1学期で成長できたところは今後の生活に活かし、課題については2学年全員で改善に向けて努力することを目標としたいと思います。

### N.S.さん(3年)の「1学期の反省」

3年生になり、早いもので、1学期が終わろうとしています。5月には修学旅行。6月に中学校最後の体育祭、7月には部活動の引退と、盛りだくさんの日々を過ごし、だんだんと中学校生活が残り少なくなってきたことを実感しています。

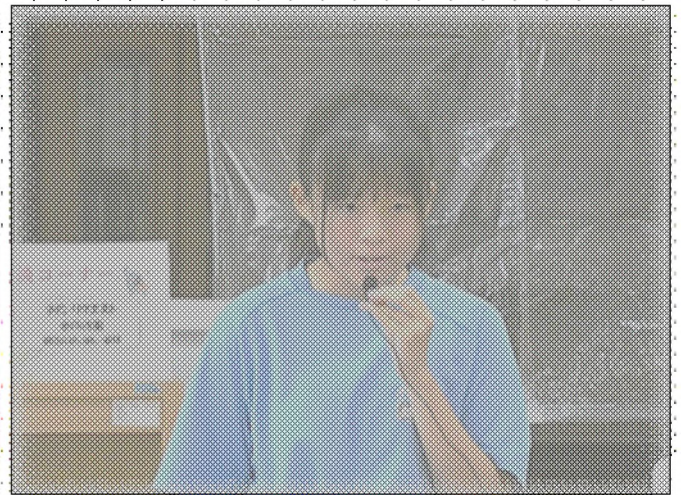
1学期の反省として、学習面と生活面の話をしたいと思います。

まず、学習面です。私は、校長先生がずっとお話をくださっている英数30分にプラスして、家庭学習に取り組んできました。しかし、部活動との両立が難しく、勉強をおろそかにしてしまうこともありました。部活動を引退した今年の夏休みは、時間に余裕があるので、受験を意識しながら勉強をすすめて行きたいと思っています。受験勉強は、1・2年生の復習もしていかなければならないので、受験生としての自覚をもって取り組んでいきたいです。

生活面では、最高学年になったので、自分の進路について真剣に考える機会が増えました。先日行った三者面談や進路説明会でも、勉強面だけでなく、生活面もしっかりしていかなければならないということを教えていただきました。

1学期の生活で一番思い出に残っているのは、修学旅行です。コロナ対策の緩和により、マスクなしで活動してもよいことになりました。初めてマスクを取った友だちを見るのは、なんだか新鮮でした。また、食事の時も向かい合って食べることができ、とてもいい思い出になりました。こんなに楽しい修学旅行になったのは、校長先生をはじめ、先生方や仲間達の協力があったからだと思っています。

私たち3年生に残された行事は少ないけれど、一生懸命、楽しく取り組んでいきたいです。残された中学校生活は、あと実質7ヶ月です。最後に「このクラス・この学年でよかった」と思えるように、学校生活を送っていきたいです。



皆さんは、成田中の仲間達の『意見発表』を聴いて、何を感じ思ったことでしょうか。参考になることがたくさんあったのではないのでしょうか？そして、今一度、自分自身の『1学期の反省』は何だったのか、『2学期の課題や目標』は何なのか・・・確認してみるといいと思います。意見発表をしてくれた3人の皆さん、素晴らしい発表をありがとうございました。拍手です。